



# 王子台

ホームページ <http://www.school.city.sakura.chiba.jp/ojidai-es/>

令和3年9月30日

学校だより No. 6

佐倉市立王子台小学校

TEL : 043(487)1376

FAX : 043(462)4889



## 人権感覚の育成 ～他の人の大切さも認める心を～

秋空高く、爽やかな風を感じる季節になりました。校庭で遊ぶ子どもたちの視線の先も蝉やカナブンから草むらの小さなトカゲへと変化しているようです。初秋から晩秋にかけて大きく変化するこの季節を、子どもたちと共に感じ、共感し、学んでいきたいと思えます。また、「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」などと言われるように、秋は何を行うにも適した季節です。コロナ禍による制限はある中ですが、子どもたちの活動を充実させ、「実りの秋」となるように教職員一同、力を合わせて支援してまいります。引き続き学校へのご協力をよろしくお願いいたします。

9月5日に閉幕した東京パラリンピックでは、161カ国・地域と難民選手団が参加し、4400人以上の選手が、各競技の中でたくさんの感動を与えてくれました。今回の大会について、日本パラリンピック協会会長は、「多くの人が、選手のパフォーマンスを見て、障害者や障害についての見方が変わり、共生社会への気付きにつながったと思う。学校連携観戦で、子どもたちが『可能性に挑戦する勇気』と『違いを認め合う大切さ』を理解できたと思う」と総括しました。テレビで観戦していた私たちも、選手の活躍する姿から、身体に障害がありながら、身体を鍛え、精神を鍛え、技を磨いてきた鍛錬の日々を思うと、人間の強さがいかに大きいものかを感じさせられました。競泳男子100メートルバタフライ視覚障害のクラスで金メダルを獲得した木村敬一選手は、2歳の時に病気で視力を失いましたが、小学4年生で始めた水泳で才能を開花させたのだそうです。木村選手は、人が泳いでいる姿を見たことがありません。しかし、「水が自分の後ろに動けば体が前に行く。水がいちばん後ろに行く場所を、かいて、蹴ればいい」という独自の考えに基づいた泳ぎを20年かけて作り上げてきたそうです。全盲というハンディキャップを感じさせない美しい泳ぎには、ただただ驚くばかりでした。



今回のパラリンピックでは、「共生社会」が理念にうたわれ、競技場や公共交通機関などのバリアフリー化がすすめられました。その一方で、障害者と健常者が日常的に交わる機会はまだまだ少なく、「心のバリアフリー」は十分達成できているとは言えないのだそうです。ある新聞で、重度障害があるため電動車椅子を利用している30代の女性が、無人駅で駅員の手配と介助を断られたため電車に乗れなかったことをブログに投稿すると、インターネットで多くの人からバッシングを受けたという記事を目にしました。その女性は、取材で、「『障害者には優しくしよう』という善意頼みではなく、健常者と同じように移動できる環境を権利として認めてほしい。誰でも障害者になり得るし、みんないつかは、年老いていく。いろいろな人が生活しやすい社会を目指したい」と言っていました。この記事から、社会には様々な人がいて、それぞれの「心のバリア」をなくすには、すべての人が積極的に互いを理解し、助け合う姿勢が必要であること、そして、障害者に対してだけではなく、普段から、自分とはちがう体や心の特性、考え方もつ人一人一人が認め、お互いを分かり合うために話をしたり支え合ったりするように意識して生活することが大切なのではないかと思いました。



さて、東京パラリンピック閉会式で、千葉県内の2つの学校が表彰されました。国際パラリンピック委員会が主催するパラ教育に取り組んだとして開催国最優秀賞に選ばれた木更津市立清見台小学校と開催国特別賞に選ばれた県立東金特別支援学校です。清見台小学校のオリパラ推進隊リーダーの児童は、「義足をつけた陸上競技の選手が速くて迫力があつた。かわいそうじゃなくて、同じ人間。一緒に生きていけたらいい」と言い、他の児童からも「誇りに思う」「障害のある人への差別をなくしたい」と受賞の喜びとともに共生社会への思いが伝えられました。子どもたちの純粋な心は、すでに「心のバリアフリー」へすすんでいるなあと思いました。

本校においても、あらゆる場面で「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるような人権感覚を子どもたちに身に付けさせる取り組みを行っています。他の人の立場に立って、その人に必要なことやその人の気持ちを理解することができる子どもたちを育てていきたいと思えます。そして、このような人権感覚を身に付けていくことが、学校生活における「いじめの未然防止」にもつながると考えます。

子どもたちが、将来、共生社会の実現に向けて役立つ人材に育っていくことを願っています。

校長 村上 武宏



## 学校支援アドバイザー 山本先生の来校日

10月14日(木)

## スクールカウンセラー 浅見先生の来校日

10月6日(水)・20日(水)

☆相談を希望される方は、教頭までご連絡ください。



### 【10月の行事予定】

- 4日(月) 委員会活動
- 8日(金) 前期終業式
- 11日(月) 後期始業式  
教育実習開始(前原先生)
- 12日(火) 給食費引き落とし日
- 13日(水) 校内授業研究会  
資源回収日
- 15日(金) 5年自然教室(小見川方面)
- 19日(火) 1・2年校外学習(千葉市動物公園)
- 22日(金) 給食費再引き落とし日
- 25日(月) 集金日・ベルマーク収集日  
クラブ活動
- 27日(水) 就学時健康診断 12:50 下校
- ※30日(土)に予定していた授業参観・音楽発表会は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、授業参観は中止、音楽発表会は延期となります。



### 【11月のおおまかな予定】

- 2日(火) 全校集会 委員会活動
- 3日(水) 文化の日
- 4日(木) 4年芋掘り(江原台方面)
- 5日(金) 5年芋掘り(江原台方面)
- 8日(月) クラブ活動
- 9日(火) さわやかマラソン開始
- 10日(水) 資源回収日 給食費引き落とし日
- 11日(木) 1年歯科管理健診 5年歯科再健診
- 12日(金) 4年校外学習(酒々井・千葉方面)
- 19日(金) 6年修学旅行(鎌倉方面)  
5年歯科管理健診
- 20日(土) PTA 校内美化活動
- 22日(月) 集金日・ベルマーク収集日  
給食費再引き落とし日
- 23日(火) 勤労感謝の日
- 29日(月) 委員会活動
- 30日(火) 音楽発表会
- ※さわやかマラソンの日程や、音楽発表会の詳細につきましては、後日お知らせします。

### ～受賞おめでとうございます！～

#### ○第一部会読書感想文コンクール

入選 2年 5年

#### ○佐倉学子供作品展

佐倉学賞 4年 6年

#### ○印旛郡市理科作品展

金賞 3年

入選 1年 2年

3年 4年

5年 6年



### ～10月からの学校生活について～

10/4(月)～11/12(金)の学校生活について、9/28(火)に手紙を配付しました。佐倉市における感染状況は減少傾向にありますが、10月からの学校生活も感染対策を講じたうえで進めてまいります。また、「『新しい生活様式』に基づく学校生活の流れ」を明日配付しますので、ご覧ください。

【教育課程】1～2年生…火・木4時間 14:00 下校、月・水・金曜日5時間 14:40 下校

※基本 3年生……月～金曜日5時間 14:40 下校

4～6年生…火・木・金曜日5時間 14:40 下校、月・水曜日6時間 15:25 下校

【校外学習】感染対策を講じながら、実施する予定です。

【朝の健康観察】引き続き、家庭での健康観察を確実に行っていただきますようお願いいたします。お子さんや同居のご家族に体調がすぐれない方がいる場合は、登校を見合わせていただき、学校にご連絡ください。

### ～10/30(土)授業参観の中止・音楽発表会の変更について～

新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、10月30日(土)に予定をしていた授業参観を中止させていただきますことになりました。また、同日に予定をしていた音楽発表会につきましては、日にちを変え、規模を縮小して実施いたしますので、本日配付した「音楽発表会の変更について」をお読みください。

詳細につきましては、後日、お知らせいたします。

子どもたちの活躍の様子はホームページや学校だより等でお知らせいたします。

【変更前】 令和3年10月30日(土) → 【変更後】 令和3年11月30日(火)

## 王子台小の新型コロナウイルス感染予防



登校したら時間まで並んで静かに待ち、手指の消毒をしてから校舎に入ります。

手洗い場と  
トイレは足  
形をつけて  
距離を取っ  
て待つよう  
にします。



間をあけて並びます。

給食は黙食です。



- 教室日入る前に消毒をします。
- 校内の様々なところに、手洗いや消毒、マスクの着用等をうながす掲示物を貼りました。
- 教室の窓に、換気の日安となる掲示物を貼っています。

## 9月の行事より（王子台小学校ホームページも、ぜひご覧ください）



9/10（木）  
1～3年タブレット  
端末一時持ち帰り

